

五中「生徒憲章」

校長

昨年度から生徒会役員を中心に検討してきた五中生徒憲章が完成しました。生徒憲章の作成に携わった前生徒会役員のその時の思いを、言葉にしたので紹介したいと思います。

以下、生徒文から（カコミ部分）

五中生徒憲章は、五中生徒が目指すべき姿を校章の5つの意味を元に示したものです。

校長先生からの助言をいただき、制作を開始しました。生徒の意見を取り入れるためアンケートや学級討議を実施しました。まず、第1回目のアンケートは昨年度行い、一・二年生には「なぜ光らなければいけないのか」「光っている学校のイメージ」等を聞き、三年生には「五中の良いところ」等を聞きました。次に第1回の学級討議を行い、それを元に生徒憲章第一案を作成しました。その第一案を中央委員会で検討し決定。7月に全校生徒に発表しました。

生徒憲章五つの柱

健康：心と体の健康を保てる生徒

知性：臨機応変に動ける生徒

誠実：人のために責任をもった行動ができる生徒

努力：向上心をもち何事にも挑戦できる生徒

創造：周囲の意見に流されず自分を表現できる生徒

この生徒憲章には、今までわかりづらかった「光る五中」「光る五中生」というものを、より身近に感じてもらいたいという想いを込めました。

生徒の皆さん一人一人が、この生徒憲章を意識することで、五中生がより光っていくと思うので、この生徒憲章を頭に入れて生活していきましょう。

この五つの柱のイメージを具体化したことで、これから五中生徒が活動するうえでの指針が明らかになりました。生活上の課題が見つかった時や、きまりについて見直しなどをする時には、この生徒憲章を元に皆で考えて方向を決めていくことが大切のだと思います。だから、生徒憲章は完成して終わりではなく、作成した時の皆さんの思いを継続して、その意味について考えていくことが大切だと考えます。まずは中心になって取り組んでくれた生徒会役員のみなさんご苦労様でした。



まとめてくれた前期生徒会役員のみなさん

校庭に面した上北台駅に向かう歩道で、ごみ拾いをしてくださっている方がいます。今までも何度かお目にかかり、ご挨拶をして感謝の気持ちを伝えてきました。その会話の中で、お子様もお孫さんも五中の卒業生だと伺いました。お孫さんは本校の未至磨先生にお世話になったとのこと。

お名前は控えさせていただきますが、蔵敷にお住まいになり、御年90歳になったそうですが、足腰もしっかりと空き缶やごみくずを拾ってくださっています。朝は自転車の通行も多く急いでいる人も多いので、「気を付けてくださいね」とお声掛けしました。もし皆さんも登下校時にお会いすることがあったら、ぜひご挨拶をしてください。



●特別支援学級

◇第3学年 修学旅行



◇第1・2学年 職場体験学習



◇マラソン大会



●生徒会役員選挙を終えて

「五中をより良い学校にしよう。」

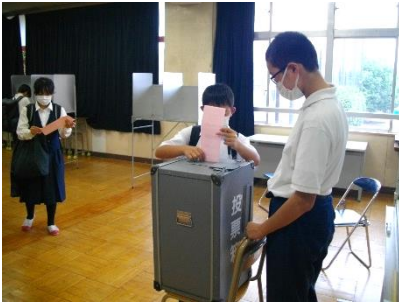
そんな生徒の気持ちが伝わってくる、生徒会役員選挙であった。選挙管理委員会、7人の立候補者、応援者、そして全校生徒で作りあげた生徒会役員選挙であったと思う。

選挙運動期間ではポスターの掲示、昇降口での演説、給食中の放送、そして立会演説会と、立候補者・応援者はできることを一生懸命に行っていた。体育館で一堂に会しての演説では、原稿を一切見ずに、想いをまっすぐに伝えようという気概が強く感じられた。また、それを判断する全校生徒も素晴らしい姿勢で耳を傾けていた。五中の投票システムは、学活や清掃後に生徒それぞれが投票に行くという行い方である。結果、投票率は100%。全校生徒の「今後の五中」への関心の強さと、協力する姿勢が表れていた。素晴らしいことだと思う。



選挙管理委員会とともに支援する教員としては、より生徒にとって有意義な選挙となるように改善を試みている。当日、体調不良によって参加できなくなってしまった生徒の演説を、GIGA端末で撮影し流すことや、写真入りのポスターを掲示することで立候補者の顔と名前を一致させること、成人になったら行う投票のイメージを持てるように、市役所から本物の記載台や投票箱をお借りし設置したこと。さらなる支援を模索していきたい。

そして残念ながら当選とならなかった立候補者・応援者へ感謝を述べたい。皆さんが立候補し、力を尽くして下さったおかげでより全校生徒の「選出すること、票を投じることの責任感」を強められたと心から思う。五中のためにありがとうございました。皆さんの姿は、まさに「五中生徒憲章」の『誠実』の姿にあるよう、人のために責任をもった行動ができる生徒であったと思う。



すでに新役員が中心となり、後期の生徒会活動が始まっている。さらに五中を推し進めるために、皆が懸命に、そして工夫し、生徒会をつくり上げていくことが楽しみである。

●緊張と成長の職場体験

1学期から学習に取り組み、近隣の保育園や、スーパーなどの商店、公共施設など東大和市周辺の30カ所以上の事業所に協力を得て、職場体験が実施されました。体験先を決定するための集団面接も行いました。事前学習のレポート作成では、調べたことに対して、自分の意見や考えを記入するなど、生徒の興味のあることや疑問などを上手にまとめました。事業所の方々からもお褒めの言葉をいただきました。履歴書等も作成しました。



2学期には、事業所への事前に電話をかけてからの事前訪問やハローワークの方のマナー講習も実施し、体験へ向けての心構えやあいさつなどの大切さを学習し、当日を迎えました。



当日は、一社会人として、自ら考え、行動することの大切さ、難しさを経験しました。黙々と品出しや掃除をする生徒、接客を経験する生徒、子どもや高齢者などの施設のご利用者とコミュニケーションを積極的にとる生徒など、五中の生活では体験できない様々な経験をしました。失敗をしたり悩んだりしたこともありましたが、多くの経験の中で、成長を遂げた3日間になりました。



また、保護者の皆様には、体調管理やお昼の準備など、たくさんのご協力をいただきましたことを、感謝申し上げます。今後、新聞作成などの事後学習が続きます。生徒の活躍と成長を温かく見守っていただくようお願いいたします。

●第1学年 校外学習

9月29日(金)、1年生の東京デビューが無事終わりました。校外学習直前に学年閉鎖という想定外のアクシデントに見舞われましたが、学校を飛び出し、班員みんなで協力しながら、元気いっぱい活動していました。日中やや気温が上がり暑くなりましたが、お天気にも恵まれ、事故事件もなく、無事に終えることが出来ました。上北台駅での最終チェックでは、どの生徒も大きな仕事をやり遂げた充実した顔をしていました。



●「笑顔と学びの体験プロジェクト」ゴスペルコンサート

10月3日に、ゴスペルコンサートが行われました。当日は「The Voices of Japan」の8名のプロのシンガーたちが東大和五中に来てくれました。スピーカーやマイクなどもプロ仕様で、重低音が体育館に響き渡りました。コンサート初めから、大盛り上がりで、生徒たちも大人たちも体全体で楽しんでいました。何よりも、「The Voices of Japan」の8名が楽しんで歌い表現し、会場と一体になっているところが素敵で、夢のような時間でした。

生徒たちの感想でも「感動した」「鳥肌がたった」「自分も将来歌いたい」「The Voices of Japanをもっと知りたい」「ハモリがすごい」などの声がありました。また、多くの生徒から「また来年も」との声がありましたが、東京都の「笑顔と学びの体験プロジェクト」が実施されるのは、今年までと聞いていますので、残念ながら今年限りのイベントとなります。この感動を合唱コンクールへ繋げてくれることを願っています。



●合唱コンクールの練習が始まりました。

来週の本番に向けて練習に熱が入り、校内に歌声が響いています。
当日をお楽しみに！



●生徒の活動報告

『令和5年度 中学生科学コンテスト』

3名が参加しました。

実技競技Ⅱ「頑丈な橋を作ろう！」において、都の国公私立の参加204チーム中C(40～80位)となりました。評価はAからFまでの6段階です。科学部のない学校として大健闘の結果となりました。

サッカー部 市内大会 優勝

陸上競技部 令和5年度第54回東京都中学校11ブロック陸上競技選手権大会

2年1500m 4位

1年100mH 3位

2年110mH 3位 6位

1・2年砲丸投げ(4kg) 6位

共通砲丸投げ(5kg) 4位

●今後の予定

10月13日(金)漢字検定	10月28日(土)道徳地区公開講座
17日(火)生徒会朝礼	お弁当持参
19日(木)合唱コンクール <u>お弁当持参</u>	31日(火)7・8組校外学習
25日(水)～11月1日(水)	11月 2日(木)振替休業日
三者面談(3年)	11月 7日(火)生徒総会
	11月13日(月)期末考査

※新型コロナウイルス等の対応により変更することがありますのでご承知おきください。